



真剣に話を聞く出席者

## 青少年の健全育成を願って

平成18年度昭和村青少年健全育成大会が7月18日、村公民館多目的ホールで開催されました。

出席したのは、村青少年育成補導推進員や子ども会育成会の関係者など、およ



出席者に話しかける松本さん

そ100人。

開会行事の後、県庁食品安全課食育推進グループの松本佳祝さんが、ぐんま型の食育推進について講演しました。

松本さんは、子供たちの食生活が乱れてきている事に触れ「朝食を食べること、いただきますのあいさつなど、今当たり前の食生活が大切なんだということを伝えていってください」と話していました。

この後南小学校の高橋芳夫校長が学校での生徒指導や家庭の役割などについて話しました。

## 青年農業者7人が小寺知事と懇談

『昭和村青年農業者が夢を語る 知事を囲んで』と題して、村内の青年農業者7人と小寺弘之知事との懇談会が7月5日、村内の赤城原区民館で行われました。青年農業者は森下中の綿貫俊彦さんら7人が参加。レタスの収穫体験をした後に知事と懇談し、農業や地域文化に寄せた思いを語り合いました。

懇談会に先立ちレタスの収穫体験をした小寺知事は、自分で収穫したレタスをもその場で試食。おいしそうに食べていました。



レタスの収穫に挑戦する知事



子供たちに色々な話をしてくれました

また、懇談が終わると南小学校で小寺知事が講演会を実施。村内小学校の児童やその保護者らに自身の体験などを話していました。



知事を囲んで話し合い

宝くじ助成事業で  
きれいなおみこしに

(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業により、貝野瀬区のみこしが修理されました。

同事業は宝くじの普及と広報を目的として、宝くじの収益金を財源に、地域の住民組織に助成するもの。修理されたおみこしは、きれいな姿を取り戻していました。



きれいになったおみこし

社会を明るくする  
運動を実施

村更生保護女性会(山口ゆわ子会長)では7月4日、社会を明るくする運動を実

## ブルーベリー園が開園



上手につけたかな

赤城高原ブルーベリーの森が7月2日開園し、開園イベントが9日に行われました。

あいにくの雨でしたが多くの観光客が訪れブルーベリー狩りを楽しみました。

参加者には手作りのブルーベリー大福が振る舞われました。

## 青空の下ゲートボール

村老人会連合会のゲートボール大会が7月13日、村運動公園多目的グラウンドで行われました。

11地区の老人会から20チームが参加し、青空の下、ゲームを楽しみました。

成績は次のとおりです。  
優勝 赤城B、2位 川額A、3位 糸井南部C。



第一ゲート通過一

## 総合運動公園にサルビアを



一本一本ていねいに植え付け

村づくり協力委員会（横坂和夫会長）では7月3日、村総合運動公園南口周辺でサルビアの植え付けを行いました。

このサルビアは吹張の高橋幸江さんから村に贈られたもの。およそ2,000本のサルビアがきれいに植えられました。

## 小学生にうどん作りを指導

村食生活改善推進員連絡協議会（阿部須美江会長）では、赤城林間学園でうどん作り講習を行っています。

7月4日には横浜市の小学校の児童に推進員2人がうどん作りを指導。初めてのうどん作りで興味津々の児童らに、丁寧にうどんの打ち方を教えていました。



うどん作りを指導



地鎮祭の様子

# 味の素ファインテクノ新工場着工

味の素ファインテクノ株式会社（本社川崎市川崎区、高橋敏男社長、資本金3億1,500万円）が、昭和関屋工業団地で新工場の建設を着工しました

7月4日には同団地内の建設現場で地鎮祭が行われました。

同社は団地内に約5ヘクタールの用地を取得。平成19年春に新工場の稼働を予定しています。

味の素ファインテクノは、電子材料、

機能化学品を柱として事業展開しており、今回の新工場建設は、パソコンの基盤に使われる層間絶縁用フィルム（ABF）の原料の需要増に対応するため。本社工場に続く第2の生産拠点となります。

また、新工場稼働に向けて、製造技術スタッフ、製造オペレーター、経理スタッフなどの採用も始められています。

同団地への企業の進出はキャノン電子、藤森工業に次いで3社目となります。



これからも頑張ってください

施。役場や村内の保育園・小中学校を訪問し子供たちの健全な成長を願ってメッセージと人形を贈りました。